

## 3月27日、登山普及の祖ウォルター・ウェストンの忌日 本の万華鏡「登山事始め——近代日本の山と人」を公開しました

国立国会図書館ホームページでは、時事的なものや身近で楽しいものなど、様々なテーマについて当館の蔵書を使って紹介するミニ電子展示「本の万華鏡」を掲載し、数か月ごとに新規テーマを公開しています。3月27日（金）から、第18回「登山事始め——近代日本の山と人」を公開しました。

カラフルなウェアで山登りを楽しむ「山ガール」の登場、富士山のユネスコ世界文化遺産への登録、新しい祝日「山の日」の制定など、近年「山」をめぐる話題に事欠きません。今回の展示では、近代日本のさまざまな登山のかたちを紹介します。

第1章では来日した海外の登山愛好家や、女性による登山、調査研究のための登山について紹介します。第2章では、登山普及の功労者の双璧とされる志賀重昂とウォルター・ウェストンについて、第3章では、彼らの影響を受けた山岳団体や学校登山の発展、文化人たちの著作について紹介します。近代日本の、多様な登山の形と、山にいざなわれた人々の著作をご覧ください。

■ 取り上げた資料の一部（下の URL から詳細な画像、資料の中身をご覧ください。）



蛇に襲われる女性登山者。江戸時代末には、女人禁制が緩められつつあった。  
(出典：仮名垣魯文『滑稽富士詣』三編下<請求記号 京乙-75 >)



昨年 NHK テレビドラマ「芙蓉の人～富士山頂の妻」で話題となった野中到の著書『富士案内』<請求記号 88-192 イ >



日本の山を海外に紹介し、日本の登山家とも交流があったウォルター・ウェストン。(出典：『世界写真図説 雪』<請求記号 408-37 >)



東水橋尋常高等小学校の立山登山（明治45年）。登山は学校教育に取り入れられた。(出典：『ちょっと昔の学校登山』<請求記号 FS41-H127 >)



本の万華鏡

<http://www.ndl.go.jp/kaleido/>

■ 報道機関の方のお問い合わせ先

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 03-3506-5103（直通）